

COMPASS

答えの無い問いを探していく。そんな時代だから目指す方位を指し示すものが必要だ。そのようなものに私はなりたい。

県の分析ツールとは？

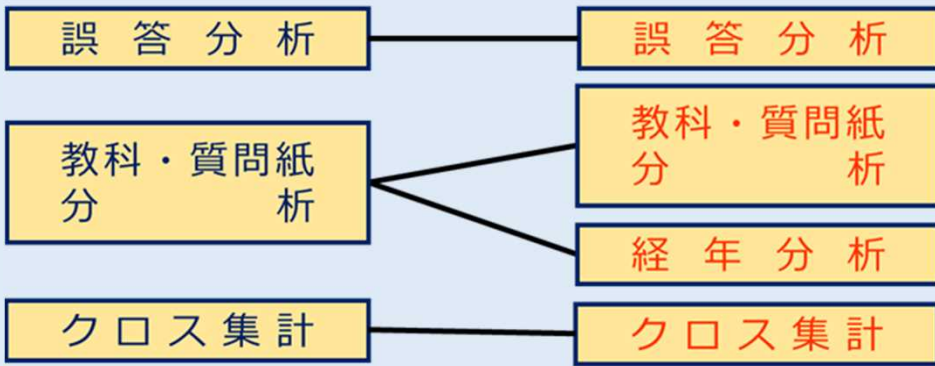
7月下旬に全国学力・学習状況調査の結果が返ってきますね。県独自の分析ツールを使うといいと聞いたのですが、そもそも分析ツールってなんですか？



分析ツールは、7月下旬に国から提供されるデータをもとに、学校の詳細な結果を示した4つの分析シートを作成し、分析に活用できるものです。このシートは、調査問題の分析や、自校の実態把握に役立ちます。さらに、シートを活用することは、指導改善のPDCAサイクルを円滑に回すことにもつながります。『令和3年度 学力向上の手引き』に詳しく記載されています。

3つの分析ツール

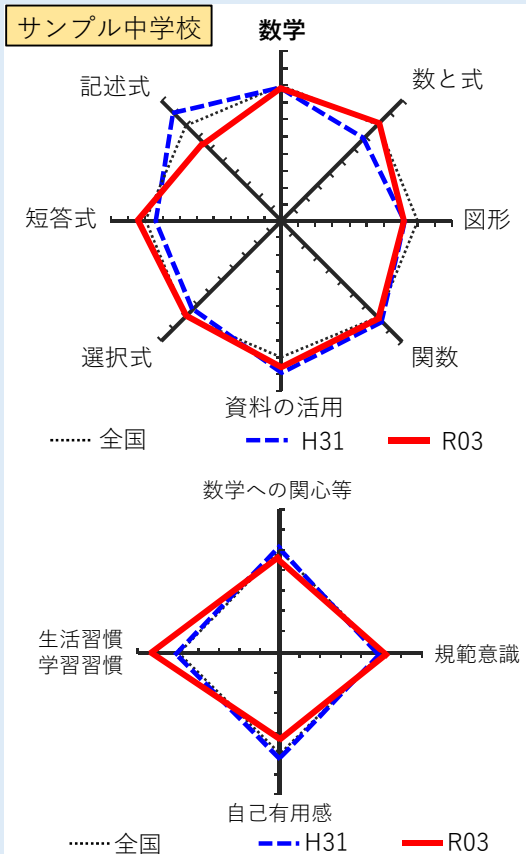
4つの分析シート



4つの分析シートで、学校全体の指導改善！

～その結果は、該当学年または該当教科だけの課題ですか？～

【経年分析シート】



サンプル中学校の H31とR03の数学の結果を比較すると…

	成果	課題
形式	短答式、選択式 UP	記述式 DOWN
領域	数と式 UP	資料の活用 DOWN

↓ しかし…

2年間だけの比較では、「前の学年はよかった」「今年は問題が難しい」などと、**原因を外に求めていますか？**
3年間分の「**データの推移や特徴**」を見ることで、**自校の特徴**をより正確に捉えやすくなります。

2年連続で図形問題の正答率が低いわ！本校の授業に何か課題があるのかしら？



自己有用感の低さと記述式の正答率の低さが気になるわ！数学以外の授業ではどうなのかしら？

【教科・質問紙分析シート】

令和3年度全国学力・学習状況調査

誤答分析【数学—授業づくりシート】①
サンプル中学校

誤答率の高い解答類型に注目しましょう！（目安として10%以上）
解答類型の分析から**なぜつまずいたか**がわかると、指導改善のヒント
が見えてくるでしょう。

設問番号	設問の概要
数学 5	反復横とびの記録の中央値を求める



【表面で実態を把握】

<解答類型と反応率>

解答	上段：解答者数					下段：解答者数の割合（%）					正答
	A層	B層	C層	D層	全体	A層	B層	C層	D層	全体	
1 54 と解答しているもの	8	6	3	4	21	32.0	24.0	12.0	16.0	84.0	◎
2 53 又は 55 と解答しているもの	0	1	0	2	3	0.0	4.0	0.0	8.0	12.0	
3 50 と解答しているもの					0					0.0	
4 52 と解答しているもの				4.0	4.0					4.0	
5 56 と解答しているもの	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

誤答率が10%以上の
解答類型に注目！

【裏面で分析内容を記録】

<解答類型別反応率にみられる特徴とつまずきの分析>

解答類型2にみられる
特徴とつまずきの分析を記入

<学習指導の改善方策>

分析で明確にした課題をふま
えた指導の改善方策を記入

出題のねらいを確認し、**つまずきの原因を探る**ことで指導改善のための方策を探りま
しょう。そして、他の教科にも通じる課題や手立てを見つけることで、学校全体で、
教科横断的に調査結果を活用できます。



裏面で
check!

他教科での活用も考えよう！

学習指導要領における
領域・内容

〔第1学年〕D資料の活用

(1)目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目し
てその資料の傾向を読み取ることができるようにする。
ア ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解すること。

「資料の活用」はどの教科でも育てられる！（学習指導要領では「データの活用」）

【数学の例】携帯電話取扱い各社の通信速度の代表値を基に、どの会社が自分に合っているか、考えよう！

【社会の例】統計を適切に取り扱い、人口動態を推測し、日本の未来予想図を描こう！（公民）

【国語の例】図や表を根拠に、説得力のある文章を書こう！（「B書くこと」）

【保健体育の例】睡眠量の統計を活用し、運動や勉強と睡眠量の関係を調査しよう！（保健分野）

【技術・家庭の例】栄養の成分表をもとに、献立を作成しよう！

ほかにも

【教科・質問紙分析シート】

レーダーチャート図で自校の成果や課題が一目瞭然！全教職員で共有して、
教科指導や生活指導を見直すきっかけにしてみたいはいかがでしょうか？



【クロス集計シート】

児童生徒の生活習慣や学習環境と学力との相関関係を確認できます。学校評価
や学校便りのネタにも活用できそうですね。

学力向上の窓 分析の活用・県のHP紹介

【調査分析をどう「活用」するか】

調査分析は、単に「学力」だけに焦点を当てるのではなく、「学習状況や児童生徒の心理」
を読み取ることも大切です。それらの関連性を分析し、学校独自の仮説を立て、教科横断的な
視点で主体的に学ぶ力にアプローチしてみたいはいかがでしょうか。家庭における学習・生活
習慣の課題については、保護者と情報を共有し協力関係のもと、取り組んでいきたいですね。

【県の学力調査に関するHPはこちら】

「調査結果」や「分析ツールの活用」
「授業改善リーフレット」など、授業に
役立つ情報をダウンロードすることが
できます。



県総合教育センター

スマートフォンから
アクセスする場合は、
事前に「PC版サイト
表示」設定を行います。



県教育委員会

